

## ジョン・レノンとインターネット

02 - 01

ニューヨークのセントラルパークの一角にある Strawberry Fields での出来事です。

ここでの感動的な会話ができるためのボクの英語修行であったのかと納得できるほどの体験でした（これを「予定調和」というのでしょうか）。



ボク自身は諸般の事情でアメリカを訪問することが10年ほど途絶えていたのですが、事情が変わって、2004年以来立て続けに3度ニューヨークを訪れる機会に恵まれ、その旅毎に何をさておいても、まずこの“IMAGINE”と、そこに誰かしらがそっと供えているバラの花を写真に撮ってきたのですが、今日、すごく感動的なことを経験しました。サブイボものの凄さです！

なんと今回は石碑そのものの周辺に工事中の柵が設置されていて、そこにバラはなく、その脇のベンチ前にバラが供えられていたのです。それで、その写真を撮っていると、なんとなんと、ベンチに座っているおじさんが、

「あなたは何者か？そんなに熱心に時間をかけてIMAGINEを写している人は見たことがない。2ヶ月前にもあなたはここに来たよね？」と話しかけてきたのです！

「あんたこそ、何者か？」と尋ね返すと……

じつは、自分は、Garyという者で、本名はAyrton. F. Dos Santos Jr. というが、人は“Mayor of Strawberry Fields”（ストローベリー・フィールドの市長）と呼ぶ、という。

「なぜなんだ？」とただすと、

生きていれば65歳になっているはずのジョンをしのいで、ここ13年間、一日として欠かすことなく、ジョンが大好きだったバラの花をいろんな色と形でIMAGINEの上に供えてきたんだ、と。

視線を落として、ボクは感動で身震いしました。なんと、男の両膝の皮膚がなく真っ黒につぶれた肉が見えているのです！